

31119 科学的思考基礎演習Ⅱ（ヘルスアセスメント・ベーシック） a、 b Fundamental Thought for Scientific Nursing II (Basic Health Assessment)		1 年次～ 後期 1 単位																	
担当者	山本 真千子／直成 洋子／菊池 未来／尾崎 道江／山岸 千恵／小澤 尚子／柴田 京子	履修可能学科	N 必																
	／原島 利恵／熊谷 英樹／佐藤 都也子	関連資格	看護（N）																
サブタイトル																			
授業内容 ・ ねらい	<p>ヘルスアセスメントは、対象を生活者としてとらえ、生理的、心理社会的に健康をアセスメントすることを目的としている。そしてヘルスアセスメントは、すべての看護活動の始まりから終了まで絶えず行われる、最も基本的で重要な看護技術のひとつである。</p> <p>この科目では、対象の人権を擁護して健康状態を正しく判断できる能力を養うことをねらいとしている。看護の対象となる人々の健康状態を正しく判断するための基礎知識を学ぶ。人体の構造と機能に関する基礎知識をもとに、問診・視診・触診・聴診などの技術や、これらを理解するための臨床生理学的検査についても学習する。</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. ヘルスアセスメントとは</td> <td>8. 超音波検査</td> </tr> <tr> <td>2. 一般状態のアセスメント</td> <td>9. 呼吸機能検査、呼吸音の聴取</td> </tr> <tr> <td>3. 神経系のアセスメント</td> <td>10. 心電図検査、心音の聴取</td> </tr> <tr> <td>4. 心臓・血管系のアセスメント</td> <td>11. 運動負荷試験</td> </tr> <tr> <td>5. 呼吸器系のアセスメント</td> <td>12. バイタルサインの実験演習</td> </tr> <tr> <td>6. 筋・骨格系のアセスメント</td> <td>13. バイタルサインの実験演習</td> </tr> <tr> <td>7. 消化器系のアセスメント</td> <td>14. バイタルサインの実験演習</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. ヘルスアセスメントまとめ</td> </tr> </table>			1. ヘルスアセスメントとは	8. 超音波検査	2. 一般状態のアセスメント	9. 呼吸機能検査、呼吸音の聴取	3. 神経系のアセスメント	10. 心電図検査、心音の聴取	4. 心臓・血管系のアセスメント	11. 運動負荷試験	5. 呼吸器系のアセスメント	12. バイタルサインの実験演習	6. 筋・骨格系のアセスメント	13. バイタルサインの実験演習	7. 消化器系のアセスメント	14. バイタルサインの実験演習		15. ヘルスアセスメントまとめ
1. ヘルスアセスメントとは	8. 超音波検査																		
2. 一般状態のアセスメント	9. 呼吸機能検査、呼吸音の聴取																		
3. 神経系のアセスメント	10. 心電図検査、心音の聴取																		
4. 心臓・血管系のアセスメント	11. 運動負荷試験																		
5. 呼吸器系のアセスメント	12. バイタルサインの実験演習																		
6. 筋・骨格系のアセスメント	13. バイタルサインの実験演習																		
7. 消化器系のアセスメント	14. バイタルサインの実験演習																		
	15. ヘルスアセスメントまとめ																		
教科書 参考書	<p>教) 福井次矢 監訳：【写真でみる】フィジカル・アセスメント、医学書院、2003。 参) 深井喜代子 編集：基礎看護学テキスト EBN志向の看護実践、南江堂、2006。／佐伯由香ほか 編訳：トートラ 人体解剖生理学、原書7版、丸善株式会社、2008。／深井喜代子ほか 編集：新・看護生理学テキスト、南江堂、2008。</p>																		
評価方法	レポート，グループワーク貢献度																		
事前準備学習 履修条件等																			